大口町橋梁長寿命化修繕計画

柿野橋

平成 28 年 12 月

（令和７年３月計画改訂版）

大口町　建設部　建設課

目　次

１　長寿命化修繕計画の目的……1
(1)　背景……1
(2)　目的……1
(3)　方針……1
(4)　新技術等の活用方針……2
(5)　費用の縮減に関する方針……2
２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）……3
(1)　計画対象の橋梁数……3
(2)　橋梁の構成……3
(3)　橋梁の年齢（個別施設の老朽化の状況）……4
３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針……5
(1)　健全度の把握に関する基本的方針……5
(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針……6
４　対象橋梁及び横断歩道橋の定期点検結果……8
５　対象橋梁の優先順位の考え方と目標……9
６　計画策定担当部署……15
(1)　計画策定担当部署……15

１　長寿命化修繕計画の目的

(1)　背景

国土交通省では、地方自治体が管理している 13 万箇所を超える道路橋の老朽化等に伴う損傷の早期発見とその補修を行うため、平成 19 年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設した。この制度は「長寿命化修繕計画」の策定に要する費用の一部を国が補助するもので、これまでの事後的な修繕・架替えから、今後は予防的修繕および計画的架替えへと政策転換を促すことを目的としている。

全国的に見て、建設後相当の期間を経過した橋梁を含む社会資本は増大する傾向にあり、老朽化に伴う障害事例が見られる。

愛知県においても、平成 17 年度に「社会資本長寿命化基本計画」を策定し、予防的修繕に取り組むため、平成 19 年度から全橋梁の点検を実施し、平成 24 年度より計画を策定している。

大口町の橋梁は、高度成長期以降に整備されたものが多く、今後、高齢化の進行が予想されている。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、町の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性がある。

(2)　目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する高齢化した橋梁及び横断歩道橋の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

(3)　方針

長寿命化修繕計画は、橋梁点検結果を基礎データに用いて立案する。

本計画の対象となる橋梁は以下の条件で選定した。

・大口町が管理する橋梁（83 橋）及び横断歩道橋（2 橋）

・点検結果は、平成２２～令和６年度に点検を実施した橋梁により修繕計画を策定し、今後近接目視による点検を実施する橋梁の点検計画を策定した。

計画期間は令和１３年度までとした。

(4)　新技術等の活用方針

計画期間の橋梁（83橋）及び横断歩道橋（2橋）において定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術等の活用を検討する。

鋼橋の修繕においては、旧塗膜に鉛などの有害物質が含有されている橋梁及び横断歩道橋において新技術を活用し、令和13年度までに1橋で300,000円程の費用縮減を目指す。

※1橋あたりの修繕費用は、塗膜の処分費を含む。

	サンドブラスト工法	循環式ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾌﾞﾗｽﾄｼｽﾃﾑ工法
概要	研削材及び塗装カスが すべて産業廃棄物となる。	研削材を循環して再利用する 為、従来工法に比べて 産業廃棄物量が少ない。
素地調整費	7,588 円／m2 →1,365,840 円/180m2	11,690 円／m2 →2,104,200 円/180m2
産業廃棄物量	0.041t/m2→7.38t/180m2	0.0025t/m2→0.45t/180m2
処分に掛かる費用※	1,117,350 円／7.38t	29,670 円／0.45t
経済性	**2,483,190 円／180m2**	**2,133,870 円／180m2**
判定		○

※素地調整 180m2 当たり

(5)　費用の縮減に関する方針

・2 橋（境川 10 号橋、境川 11 号橋）の橋梁において集約化・撤去、機能縮小を令和 13 年度までに検討し、160,000 円の点検費用縮減を目指す。

・Ⅰ判定の橋梁のうち、5年間で10%程度の橋梁の直営点検を実施し、1橋あたり約80,000円の費用縮減を目指す。

２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）

(1)　計画対象の橋梁数

大口町が管理する橋梁は 83 橋、横断歩道橋は 2 橋あり、全橋梁を計画対象橋梁とした。

表-2.1　計画対象橋梁数

橋梁種別	橋梁	横断歩道橋
全管理橋梁数	83 橋	2 橋
今回計画の対象橋梁数	83 橋	2 橋
H28 計画策定橋梁数	84 橋	2 橋

(2)　橋梁の構成

計画策定対象橋梁 83 橋及び横断歩道橋 2 橋の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、鋼橋が 20.5%、RC 橋が 20.5%、PC 橋が 31.3%、溝橋が 21.7%、その他が 6.0%、また、横断歩道橋については鋼橋が 100%となっている。

また、大気環境別の橋梁割合は、平野地帯が 100%となっている。

表-2.2　橋種別の橋梁数・総橋長

橋種	橋　橋		横断　歩道橋	
	橋梁数	総橋長	橋梁数	総橋長
鋼橋	17 橋	247.90m	2 橋	166.10m
RC 橋	17 橋	106.30m		
PC 橋	26 橋	386.40m		
溝橋	18 橋	74.60m		
その他	5 橋	83.20m		
計	83 橋	898.40m	2 橋	166.10m

(3) 橋梁の年齢（個別施設の老朽化の状況）

長寿命化修繕計画策定対象橋梁の供用開始年次別橋梁数は下表のとおりである。現時点で、架設後 50 年以上経過した橋梁は 45 橋（54.2%）あるが、10 年後には 65 橋（78.8%）20 年後には 72 橋（86.7%）と増加する。また、横断歩道橋については、2 橋とも 40 年未満である。

架設年度	経過年数	橋梁数	割合(橋梁)	横断歩道橋数	割合(横断歩道橋)
H28 以降	1～9	6	7.2%		
H18～H27	10～19	2	2.4%		
H8～H17	20～29	3	3.6%		
S61～H7	30～39	7	8.4%	2	100%
S51～S60	40～49	20	24.1%		
S50 以前	50～	45	54.2%		

表-2.3 架設年度別の橋梁数及び割合

	橋梁		横断歩道橋	
	50 年以上の割合	50 年未満の割合	50 年以上の割合	50 年未満の割合
現在	54.2%	45.8%	0%	100%
10 年後	78.3%	21.7%	0%	100%
20 年後	86.7%	13.3%	100%	0%
30 年後	90.4%	9.6%	100%	0%
40 年後	92.8%	7.2%	100%	0%

表-2.4 架設後 50 年以上の橋梁割合推移

３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1)　健全度の把握に関する基本的方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度・構造や立地条件等を十分に考慮して点検計画を立て、5 年に 1 回の定期点検を実施する。定期点検においては、「橋梁定期点検要領 令和 6 年 7 月　国土交通省 道路局 国道・技術課」、「道路橋定期点検要領　令和 6 年 3 月　国土交通省道路局」に基づいて実施し、橋梁の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

橋梁定期点検要領では、部材単位で細かく点検し、損傷の程度等に基づき対策の必要性を判定するようになっている。

また、横断歩道橋についても 5 年に 1 回の定期点検を実施する。定期点検においては、「歩道橋定期点検要領 令和 6 年 9 月　国土交通省 道路局 国道・技術課」、「横断歩道橋定期点検要領　令和 6 年 3 月　国土交通省道路局」に基づいて実施し、横断歩道橋の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

1)　健全性の判定

表-3.1　定期点検における健全性の判定

区　分		内　容
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

写真-3.1 専門業者による点検状況①

写真-3.2 専門業者による点検状況②

(2)　日常的な維持管理に関する基本的方針

橋梁の保全を図るため、日常的な点検として道路パトロールを実施する。

道路パトロールでは、パトロール車で走行しながら目視点検を行い、異常が疑われる箇所については徒歩による目視点検を行う。

道路パトロールの作業フローを以下に示す。

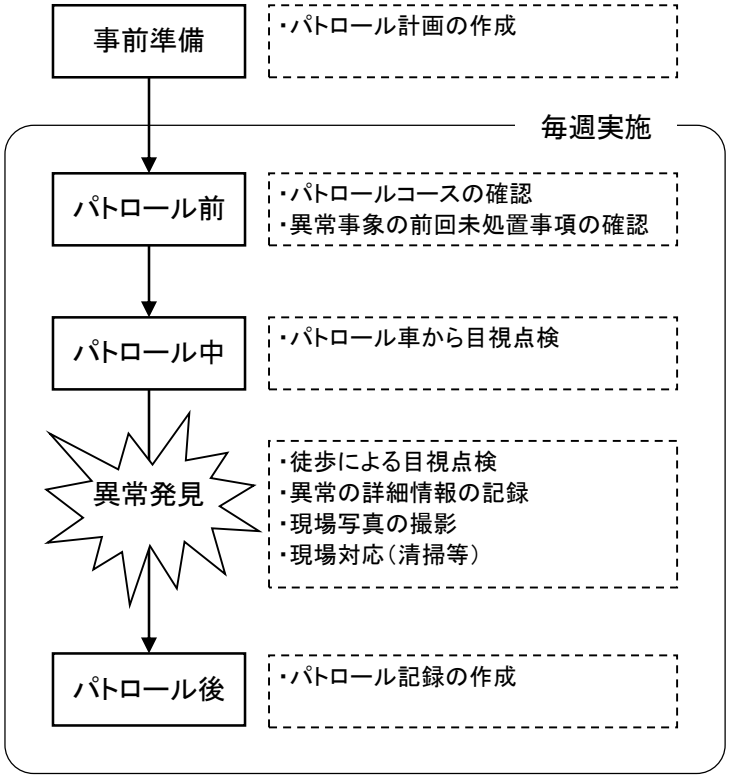

図-3.2　道路パトロール実施フロー

異常を発見した際、道路上の落下物等、現場において対応が可能であるものについてはその場で対応する。具体例として、排水の目詰まりや土砂堆積等を発見した際には必要に応じて堆積土砂の除去等を実施する。

道路パトロールにおける橋梁に関する目視点検項目を下表に示す。

表-3.4　橋梁に関する点検項目

点検項目	確認内容
破損	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
腐食	
剥離	
鉄筋露出	
ボルト外れ・ゆるみ	個数
落書き	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
接合部の段差	
土砂堆積	
排水不良	個数
その他	

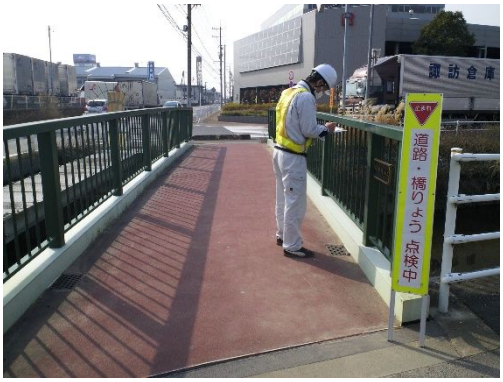

写真-3.3 道路パトロール状況①

写真-3.4 道路パトロール状況②

４　対象橋梁及び横断歩道橋の定期点検結果

平成 27 年度以降の定期点検結果は P11～P15 の表の通りである。ただし、点検後、令和 6 年度までに補修工事が完了した橋梁と令和 6 年度に新設した橋梁は健全度Ⅰとしている。

この表の結果、健全性の判定区分Ⅳは 0 橋、Ⅲとした橋梁は 1 橋、健全度Ⅱとした橋梁は 33 橋、健全度Ⅰとされた橋梁が 48 橋である。

また、横断歩道橋は 2 橋とも健全度はⅡである。

点検結果

(1) 橋梁

・健全度Ⅳ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 橋（0）
・健全度Ⅲ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 橋（0）
・健全度Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33 橋（15）
・健全度Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48 橋（0）

点検結果

(1) 横断歩道橋

・健全度Ⅳ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 橋（0）
・健全度Ⅲ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 橋（0）
・健全度Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 橋（0）
・健全度Ⅰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0 橋（0）

（）内は修繕済の橋数

５　対象橋梁の優先順位の考え方と目標

（優先順位判定方法）

優先順位は点検結果から得られた健全度・損傷の内容・影響度より評価点を算出し、評価点の高いものを優先順位の高いものと判定する。評価点が同点の場合は橋長が長いものを優先する。

（目標）

計画策定対象橋梁 83 橋及び横断歩道橋 2 橋に対する令和１３年度までの長寿命化修繕計画を次項以降に示す。

橋梁長寿命化修繕計画の基本的な考え方は、定期点検結果において健全性Ⅳ、Ⅲ及びⅡと区分されたものおよび、対象橋梁の路線の重要度を考慮し修繕計画を策定し、健全性Ⅰの修繕内容も含めて合理的かつ計画的に対応していく。また、対応ができない橋梁については、日常点検にて注意を払いながら、次回点検時に損傷の進行状況を再度把握することとする。

全体管理計画表

設計年度:○
工事年度:○
点検年度:○（直近の実施済年度・次回点検予定年度）※直営点検:★

番号	橋梁名	架設路線	架設年	延長	幅員	橋種類	所在地	健全度による評価 現在の健全度	補修内容 （ ）内は維持管理対応 ※は設計時に追加 △は今回踏査にて追加	年次計画 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	概算補修費	措置年度
1	サジキバシ 桟敷橋	河北1号線	不明	13.4	3.8	PCプレテン中空床版橋	河北一丁目	Ⅱ	排水管塗装塗替え、 排水管部材断面補修工、 防護柵塗装塗替え					○					○					○				1,440,000	
2	ムメイ2ゴウキョウ 無名2号橋	河北1号線	不明	3.54	4.72	PC橋	河北一丁目	Ⅰ	—					○					★					★				—	
3	ムメイ1ゴウキョウ 無名1号橋	河北3号線	2022	3.6	6.0	溝橋 （カルバート）	河北一丁目	Ⅰ	架け替え完了									○ ○						★					
4	ムメイ7ゴウキョウ 無名7号橋	中小口93号線	不明	3.1	3.02	RC橋	中小口四丁目	Ⅱ	床版断面修復					○					○					○				890,000	
—	チョウノウバシ 長蔵橋	高岡線								○		○					○	撤去				架設予定	○			○	11,870,000	
—	チョウノウバシ(ホドウキョウ) 長蔵橋(歩道橋)	高岡線										○					○	撤去				架設予定	○			○	20,210,000	
5	ムメイ16ゴウキョウ 無名16号橋	中小口18号線	1983	11.3	2.0	鋼橋	城屋敷一丁目	Ⅱ	鋼部材塗装塗替え、当て板補修、 根継ぎ工、断面修復工、 沓座モルタル補修工					○					○					○				16,410,000	
6	ムメイ8ゴウキョウ 無名8号橋	中小口44号線	1986	2.3	10.6	RC橋	中小口三丁目	Ⅰ	—					○					○					○				—	
7	オウカンバシ 往還橋	高岡線	1965	10.00	7.70	PC単純桁	萩島一丁目	Ⅱ	—	○		○	○	○			○				○				○			—	
8	オウカンバシ(ホドウキョウ) 往還橋(歩道橋)	高岡線	1983	11.00	2.50	単純非合成H形鋼桁	萩島一丁目	Ⅱ	—	○		○	○	○			○				○				○			—	
9	オウカンバシ(キタガワ) 往還橋(北側)	高岡線	1965	12.00	2.90	PC単純プレテンホロー桁	萩島一丁目	Ⅰ	—	○		○	○	○			○				○				○			—	
10	ムメイ11ゴウキョウ 無名11号橋	河北62号線	不明	2.43	8.2	RC橋	仲沖二丁目	Ⅱ	床版断面修復 路面の凹凸修復					○					○					○				890,000	
11	ハバシタガワ1ゴウキョウ 巾下川1号橋	河北66号線	不明	2.4	3.3	RC橋	二ツ屋一丁目	Ⅱ	床版断面修復 （土砂撤去）					○					○					○				—	
12	ムメイ23ゴウキョウ 無名23号橋	大口桃花台線	不明	4.95	11.9	RC橋	大御堂一丁目	Ⅰ	—					○					○					○				—	
13	ハチマンバシ 八幡橋	河北73号線	1962	12.00	4.00	RC橋	萩島一丁目	Ⅱ	竪壁・防護柵断面修復、 支承・排水管塗装塗替え、 排水管部材補修工 （橋名板取付）					○					撤去			架設予定	○				○	4,300,000	
14	ムメイ14ゴウキョウ 無名14号橋	中小口78号線	不明	1.84	3.50	RC橋	中小口五丁目	Ⅰ	—					○					★					★				—	
15	ムメイ12ゴウキョウ 無名12号橋	河北71号線	不明	4.05	3.45	RC橋	二ツ屋一丁目	Ⅱ	床版断面修復 防護柵修繕 （路面段差すりつけ）					○					○					○				910,000	
16	チョウジャバシ 長者橋	河北73号線	2017	9.20	8.80	溝橋 （カルバート）	萩島一丁目	Ⅰ	—				○	○					○					○				—	
17	ハバシタガワ2ゴウキョウ 巾下川2号橋	河北74号線	1983	6.9	3.6	鋼橋	二ツ屋一丁目	Ⅱ	鋼部材塗装塗替工、表面被覆工、 竪壁断面修復工、（土砂撤去）					○					○					○				11,670,000	
18	テンジンバシ 天神橋	河北81号線	1971	9.40	4.60	PC橋	二ツ屋二丁目	Ⅰ	—				○				○						○				—	
19	サカイガワ7ゴウキョウ 境川7号橋	外坪45号線	不明	4.60	4.50	RC橋	外坪五丁目	Ⅱ	床版・竪壁断面修復				○				○						○				5,140,000	
20	サカイガワ8ゴウキョウ 境川8号橋	外坪34号線	不明	8.00	3.00	PC橋	外坪五丁目	Ⅰ	—				○				★						★				—	
21	サカイガワ5ゴウキョウ 境川5号橋	外坪22号線	不明	4.40	6.20	PC橋	外坪一丁目	Ⅱ	竪壁ひびわれ補修、 舗装ひびわれ補修、 断面修復				○				○						○				3,850,000	
22	サカイガワ4ゴウキョウ 境川4号橋	外坪31号線	不明	4.05	4.20	RC橋	外坪一丁目	Ⅱ	床版断面修復 （脱落ボルト補修）				○				○						○				890,000	
23	サカイガワ2ゴウキョウ 境川2号橋	外坪18号線	不明	6.20	4.15	RC橋	外坪一丁目	Ⅰ	—				○				○						○				—	
24	サカイガワ1ゴウキョウ 境川1号橋	外坪5号線	不明	5.85	6.20	RC橋	外坪一丁目	Ⅰ	—				○				○						○				—	
25	ハバシタガワ4ゴウキョウ 巾下川4号橋	外坪5号線	1982	10.80	5.60	鋼橋	外坪三丁目	Ⅲ	床版断面修復、支承塗装塗替え、 舗装打替え △支承部アンカーボルト補修				○				○			○	○			○				6,450,000	

全体管理計画表

設計年度:○
工事年度:○
点検年度:○ (直近の実施済年度・次回点検予定年度)※直営点検:★

番号	橋梁名	架設路線	架設年	延長	幅員	橋種類	所在地	健全度による評価 現在の健全度	補修内容 ( ) 内は維持管理対応 ※は設計時に追加 △は今回踏査にて追加	年次計画 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	概算補修費	措置年度
26	サカイガワ3ゴウキョウ 境川3号橋	外坪16号線	不明	4.00	2.70	RC橋	外坪一丁目	I	—				○					○					○					—	
27	サカイガワ6ゴウキョウ 境川6号橋	外坪32号橋	不明	5.00	2.00	RC橋	外坪五丁目	I	—				○					★					★					—	
28	テンジンヅカバシ 天神塚橋	河北小牧線	1962	10.50	6.10	単純非合成H形鋼桁	二ツ屋二丁目	II	—		○			○	○						○					○		—	R1
29	ハバシタガワ3ゴウキョウ 巾下川3号橋	河北84号線	1983	9.40	2.15	鋼橋	二ツ屋二丁目	I	—				○					○					○					—	
30	サカイガワ9ゴウキョウ 境川9号橋	外坪35号線	1983	6.20	4.70	PC橋	外坪五丁目	II	竪壁ひびわれ補修 舗装ひびわれ補修				○					○					○					—	
31	サカイガワ10ゴウキョウ 境川10号橋	外坪36号線	1982	6.50	2.15	鋼橋	外坪五丁目	I	—				○					○					○					—	
32	サカイガワ11ゴウキョウ 境川11号橋	外坪37号線	1982	6.50	2.15	鋼橋	外坪五丁目	I	—				○					○					○					—	
33	マエダバシ 前田橋	外坪20号線	1981	11.00	4.00	鋼橋	外坪三丁目	I	—				○			○	○	★					○					20,570,000	R3
34	ハバシタガワ5ゴウキョウ 巾下川5号橋	外坪21号線	1982	11.00	3.00	鋼橋	外坪三丁目	I	—				○			○	○	★					○					24,365,000	R3
35	ハバシタガワ6ゴウキョウ 巾下川6号橋	外坪22号線	1983	11.00	6.00	混合橋	外坪三丁目	I	—				○			○	○	★					○					20,570,000	R3
36	ハバシタガワ7ゴウキョウ 巾下川7号橋	内津々線	1982	11.40	4.20	単純合成H形鋼桁	外坪三丁目	II	—	○																		—	H26
			1984	11.40	3.00	PC単純桁				○																			
			1984	11.40	3.00	PC単純桁						○					○						○				○		
37	ヤドコバシ 矢戸小橋	高橋替地線	1979	6.30	10.80	PC単純桁	替地一丁目	II	伸縮装置取替工					○	○													—	R1
38	ヤドコバシホドウキョウ 矢戸小橋歩道橋	高橋替地線	2024	5.70	1.50	RC橋	替地一丁目	—												R6年度 道路拡幅工事 により新設									—	
39	バシ ふじのき橋	豊田80号線	1992	13.10	7.40	PC橋	豊田三丁目	II	主桁ひびわれ補修 舗装ひびわれ補修				○					○					○					620,000	
40	キジノバシ 雉子野橋	西武線	2017	12.84	8.22	プレテンション方式 PC単純床版橋	豊田三丁目	I	架け替え完了				○															—	
41	キジノバシホドウキョウ 雉子野橋歩道橋	西武線	2004	13.00	2.90	単純鋼床版版桁	豊田三丁目	I	—																			—	
42	コツオオバシ 木津大橋	大口桃花台線	1992	13.00	16.80	PC単純プレテンホロー桁	萩島二丁目	I	(土砂撤去、路面段差すりつけ) ※切削オーバーレイ、 ※防護柵塗装塗替え					○		過年度設計済													3,010,000	
43	ハバシタオオバシ 巾下大橋	大口桃花台線	1993	19.00	16.80	PC単純プレテンT桁	二ツ屋二丁目	I	シール材充填工、 (土砂撤去、路面段差すりつけ、不法占用物の撤去) ※切削オーバーレイ、※伸縮装置補修工、※					○		過年度設計済													14,570,000	R2
44	ヘイワバシ 平和橋	柏森大口線	1980	16.90	5.30	RC単純T桁	丸二丁目	I	(舗装打替え工) 、 ※断面修復工、 ※ひびわれ補修工、 ※支承モルタル補修工、 ※鋼部材塗装塗替え工、 ※伸縮装置補修工、 ※排水管補修工					○		過年度設計済													53,030,000	
			1980	16.70	7.80	単純合成H形鋼桁														○									
			1980	16.70	2.80	単純合成H形鋼桁					○					○					○					○			
45	アイセオオバシ 合瀬大橋	大口桃花台線	1991	23.00	16.80	PC単純ポステン桁	新宮一丁目	I	(不法投棄の片づけ、舗装すりつけ、地覆断面修復) ※横げたシール材充填、 ※張出床版断面修復、					○		過年度設計済													15,720,000	R2
46	ダイエイバシ 大栄橋	大口桃花台線	1976	43.00	8.00	単純鋼桁		II	—	○																		—	
47	ダイエイバシホドウキョウ 大栄橋歩道橋	大口桃花台線	2002	17.00	3.00	単純鋼床版版桁	丸二丁目	I	—																			—	
48	コギタバシ 河北橋	河北小牧線	1963	20.50	4.60	RC単純T桁	河北二丁目	II	伸縮装置取替工、断面修復工、塗装塗替え工	○				○														—	R1
49	カキノバシ 柿野橋	野合線	2021	28.60	12.80	単純中空合成床版	中小口四丁目	I	架け替え完了								○	○										—	R3
—	カキノバシホドウキョウ 柿野橋歩道橋	野合線	1992			単純鋼床版桁			R3年度架け替え完了。柿野橋と一体化。								撤去橋	撤去橋	撤去橋	撤去橋	撤去橋	撤去橋						—	

全体管理計画表

設計年度:○
工事年度:○
点検年度:○（直近の実施済年度・次回点検予定年度）※直営点検:★

番号	橋梁名	架設路線	架設年	延長	幅員	橋種類	所在地	健全度による評価 現在の健全度	補修内容 （ ）内は維持管理対応 ※は設計時に追加 △は今回踏査にて追加	年次計画 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	概算補修費	措置年度
50	トイダバシ 樋田橋	大口中央幹線	1974	21.00	10.00	PC単純プレテンホロー桁	下小口6丁目	II	舗装のポットホール			○				○					○					○		—	
51	ホリオバシ 堀尾橋	豊三線	1972 2010	27.00 27.00	8.60 3.70	PC単純ポステンT桁 PC単純プレテンホロー桁	堀尾跡二丁目	II	床版断面修復工、舗装打替工、伸縮装置補修工、（土砂撤去、排水管設置工）			○					○					○					○	30,790,000	
52	オオノセバシ 大之瀬橋	布袋小牧線	2007	21.00	10.30	PC単純プレテンホロー桁	御供所一丁目	I	—			○					○					○					○	—	
53	フジミバシ 富士見橋	河北18号線	1953	19.50	5.00	RC単純T桁	河北二丁目	II	伸縮装置取替工、橋面防水工、オーバーレイ工	○		○															—	H28
54	ゴウマエバシ 郷前橋	河北21号線	1973	21.70	5.20	PC単純プレテンT桁	河北二丁目	II	定着部塗装塗替え、断面修復、（土砂撤去）	○ ○																	1,460,000	H26
55	オオグチバシ 大口橋	上小口98号線	2012	26.00	8.50	鋼桁	上小口三丁目	I	—			○					○					○					○	—	
56	マンガンジバシ 万願寺橋	上小口51号線	1973	18.00	9.90	PC桁	中小口二丁目	II	堅壁断面修復、地覆断面修復、（土砂撤去、舗装修復材補修）	○	○	○					○					○					○	890,000	H27
57	チョウネンバシ 長年橋	大屋敷1号線	1972	21.60	4.80	PC単純プレテンT桁	大屋敷二丁目	II	地覆や伸縮装置目地の損傷	○				○														—	H29
58	ダイシバシ 大師橋	大屋敷22号線	1980	19.00	3.20	単純合成H形鋼桁	大屋敷二丁目	I	伸縮装置取替工、舗装擦付工			○		○	○		○					○					○	—	R1
59	ジンザバシ 甚佐橋	豊田98号線	1968	15.70	3.44	PC単純桁	奈良子二丁目	I	高欄添架式転落防止柵工	○		○																—	H28
60	アキバコバシ 秋葉小橋	豊田10号線	1977	17.00	3.10	単純合成H形鋼桁	奈良子一丁目	II	—	○ ○																	—	H26
61	ニシカワラバシ 西川原橋	豊田128号線	1989	24.00	7.70	PC単純ポステンホロー桁	御供所一丁目	I	—	○ ○																	—	H26
62	アラタバシ 新田橋	下小口58号線	1970 1997	18.00 18.50	5.50 4.00	PC単純プレテンホロー桁 PC単純プレテンホロー桁	下小口6丁目	II	—					○	○													—	R1
63	ゴジョウ バシ 五条橋	大屋敷線	1967 1984 1984	15.40 15.40 15.40	5.30 5.80 2.20	RC連続T桁 PC単純プレテンホロー桁 PC単純桁	大屋敷二丁目	II	主桁・橋脚断面修復、（土砂撤去、ILB補修）	○	○	○				○	○				○					○	5,640,000	H27
64	タケバシ 竹橋	中小口19号線	1970 1990	15.70 15.80	4.00 2.50	PC単純桁 PC単純プレテンホロー桁	城屋敷一丁目	II	伸縮装置取替工、塗装塗替え工			○	○	○		○				○					○	—	H30
65	タケバシホドウキョウ 竹橋歩道橋	中小口19号線	1979	18.00	2.10	単純非合成H形鋼桁	城屋敷一丁目	I	伸縮装置取替工、塗装塗替え工		○					○					○					○	—	
66	キタカワラバシ 北河原橋	豊田17号線	2001	15.00	7.20	PC単純プレテンホロー桁	御供所一丁目	I	—			○		○			○					○					○	—	
—	ムメイ6ゴウキョウ 無名6号橋	野合線	不明			RC橋	中小口四丁目		R3年度ボックスカルバートへの改築。2m未満となったため、定期点検対象外。					○			○			★	★	★						—	R3
67	ムメイ22ゴウキョウ 無名22号橋	大御堂線	不明	3.65	9.40	溝橋（カルバート）	大御堂一丁目	I	—					○					○			○						—	
68	ムメイ21ゴウキョウ 無名21号橋	下小口83号線	不明	3.55	6.95	RC橋	竹田三丁目	II	床版・堅壁断面修復					○					○			○						1,720,000	
69	ムメイ17ゴウキョウ 無名17号橋	下小口50号線	不明	2.30	3.00	溝橋（カルバート）	下小口四丁目	I	—					○					★			★						—	
70	ムメイ24ゴウキョウ 無名24号橋	大屋敷線	不明	3.50	14.0	溝橋（カルバート）	大屋敷一丁目	II	側壁断面修復 路面修繕					○					○			○						920,000	
71	ムメイ25ゴウキョウ 無名25号橋	大屋敷42号線	不明	3.50	9.00	溝橋（カルバート）	大屋敷一丁目	II	床版・堅壁ひびわれ補修					○					○			○						7,760,000	
72	ムメイ27ゴウキョウ 無名27号橋	豊田108号線	不明	3.50	8.00	溝橋（カルバート）	奈良子一丁目	I	—					○				○					○					—	
73	ムメイ28ゴウキョウ 無名28号橋	豊田115号線	1983	3.60	7.60	溝橋（カルバート）	奈良子一丁目	I	—					○				○					★					—	

全体管理計画表

設計年度:○
工事年度:○
点検年度:○ (直近の実施済年度・次回点検予定年度)※直営点検:★

番号	橋梁名	架設路線	架設年	延長	幅員	橋種類	所在地	健全度による評価 現在の健全度	補修内容 ( ) 内は維持管理対応 ※は設計時に追加 △は今回踏査にて追加	年次計画 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	概算補修費	措置年度
74	ムメイ29ゴウキョウ 無名29号橋	豊田109号線	不明	3.60	5.00	溝橋(カルバート)	余野二丁目	I	—				○					○					★						—	
75	ムメイ30ゴウキョウ 無名30号橋	豊田112号線	1985	3.60	7.00	溝橋(カルバート)	奈良子一丁目	I	—				○					○					★						—	
76	ムメイ31ゴウキョウ 無名31号橋	豊田106号線	1987	3.60	9.60	溝橋(カルバート)	奈良子一丁目	I	—				○					○					○						—	
77	ムメイ32ゴウキョウ 無名32号橋	豊田110号線	不明	3.60	4.00	溝橋(カルバート)	奈良子一丁目	I	—				○					○					★						—	
78	ムメイ36ゴウキョウ 無名36号橋	大屋敷37号線	不明	3.50	7.50	溝橋(カルバート)	大屋敷一丁目	I	—					○					○					★					—	
79	ムメイ37ゴウキョウ 無名37号橋	下小口142号線	不明	2.40	8.83	溝橋(カルバート)	竹田三丁目	I	—					○					○					★					—	
80	ムメイ38ゴウキョウ 無名38号橋	大屋敷4号線	不明	3.22	10.00	溝橋(カルバート)	竹田三丁目	I	—					○					○					○					—	
81	ムメイ39ゴウキョウ 無名39号橋	下小口129号線	不明	3.20	9.05	溝橋(カルバート)	大御堂一丁目	I	—					○					○					★					—	
—	無名橋	秋田126号線	1988	11.80	6.00	RC床版橋	替地三丁目	—											R5年度 ㈱東海理化電機製作所より権利譲渡	R6年度 撤去									—	
82	ムメイ41ゴウキョウ 無名40号橋	上小口5号線	不明	13.10	4.80	PC床版橋	上小口二丁目	—												R6年度 より大口町管理	○					○			—	
83	オオグチサクラバシ 大口SAKURA橋	秋田126号線	2024	9.40	11.52	RC橋	替地三丁目	—												R6年度 新設		○					○		—	

対象橋梁ごとの点検結果、次回点検及び修繕時期　　基準年　2024

施設名		橋種	所在地	路線	架設年次		供用年数(R6.3現在)	橋長(m)	幅員(m)	最新点検年度	修繕計画策定年度	点検結果		補修内容	補修費用	修繕事業項目	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	
橋梁名	(ﾌﾘｶﾞﾅ)			路線名	架設年次(西暦)	不明の場合 8:1961～1970 9:1971～1980 10:1981～1990						健全性の評価																		
												橋梁全体	部位																	
であい橋	ﾃﾞｱｲﾊﾞｼ	単純鋼床版箱桁	余野六丁目	町道余野96号線	1991		33	108.97	2.1	(R4)	(H24)	Ⅱ	Ⅱ 上部構造 Ⅰ 下部構造 Ⅰ 支承部 Ⅰ 隣段部 Ⅱ その他	塗装塗替工 目地材設置工 舗装工 橋面防水工 維持工事	10,000,000	詳細調査															
																補修設計							○						
																補修工事							○						
																定期点検	H29.9.27					○					○		
希望の橋	ｷﾎﾞｳﾉﾊﾞｼ	連続鋼床版箱桁	余野四丁目	町道余野95号線	1990		34	57.1	2.1	(R4)	(H24)	Ⅱ	Ⅱ 上部構造 Ⅰ 下部構造 Ⅰ 支承部 Ⅰ 隣段部 Ⅱ その他	塗装塗替工 床版防水工 舗装工	10,000,000	詳細調査															
																補修設計							○						
																補修工事							○						
																定期点検	H29.9.26					○					○		

６　計画策定担当部署

(1)　計画策定担当部署

大口町 建設部 建設課　TEL：0587-95-1626　(直)

以上